

「地方公会計の整備促進に関するワーキンググループ」開催要綱（案）

1. 背景・目的

平成19年10月に公表した「新地方公会計制度実務研究会報告書」で示した基準モデル及び総務省方式改訂モデルによる財務諸表の整備が中小規模の団体でも円滑に進むよう、作成上の課題となっている事項に対する解決方策の検討や連結財務諸表作成のより詳細な手順などの検討を行うため、「地方公会計の整備促進に関するワーキンググループ」を開催する。

2. 名 称

本会合は、「地方公会計の整備促進に関するワーキンググループ」（以下「WG」という。）と称する。

3. 検討内容

- （1）財務書類整備促進のための具体策
 - ・整備着手の障害となっている課題の抽出
 - ・課題に応じた具体的な解決方策の検討
 - ・中小団体での作成事例の分析・紹介等
- （2）地方公共団体財政健全化法との整合性
 - ・地方公共団体財政健全化法における健全化判断比率等の算定方法と整合性がとれた財務諸表の整備
- （3）資産評価事務
 - ・資産評価の実務内容の検討
- （4）連結財務諸表
 - ・連結財務諸表の作成手順の検討
- （5）分析・活用手法
 - ・事業別、施設別などの区分での分析手法
 - ・住民への提示方法の工夫、実例分析等

4. 構 成 員

別紙のとおり

5. 運 営

- (1) 座長は、WGを召集し、主宰する。
- (2) 座長は、不在の場合など必要の都度、これを代行する者を指名することができる。
- (3) 座長は、必要に応じ、関係団体等に出席を求めることができる。
- (4) 会合は、公開しないが、WG終了後、配布資料を公表する。また、速やかにWGの議事概要を作成し、これを公表するものとする。

6. 開催期間

平成20年6月から開催し、概ね6回程度開催する。

7. 庶 務

WGの庶務は、総務省自治財政局財務調査課が行う。

(別紙)

構成員名簿

(敬称略)

座長 森 田 祐 司 (新地方公会計制度実務研究会委員)

(五十音順)

荒 張 健 (新日本監査法人 公認会計士)

経 塚 義 也 (あずさ監査法人 公認会計士)

小 室 将 雄 (監査法人トーマツ 公認会計士)

菅 原 正 明 (公認会計士・税理士)

高 林 泰 秀 (浜松市財務部次長兼財政課長)

竹 内 道 宏 (倉敷市総合政策局企画財政部副参事)

田 中 弘 樹 (砥部町監理財政課主任)

水 野 敦 志 (和歌山県総務部総務管理局市町村課長)